

~~一~~拉致滞在型研究会

**準解析的手法による
銀河形成研究の展望**

まとめ

遠いところからお集まりいただき
ありがとうございました。

一週間おつかれさまでした。

- vGC, 三鷹モデルの現状と問題点
- パーツの改善方向
 - dynamical response
 - Tully-Fisher relation
 - IMF?
 - color-magnitude relation
 - S0 formation
 - 環境効果、minor merger

- 応用の方向1
 - QSO吸収線系
 - Ly α emitters
 - weak lensing
 - BAO
 - halo occupation function, etc.
 - SMBHからの重力波
 - 銀河の空間相関
 - 化学進化
 - dwarf spheroidals?
 - 高エネルギー宇宙物理
- 応用の方向2
 - グラフ理論
 - 空間分布定量化の新たな道？

- シミュレーションの現状
 - N体
 - 銀河形成 (流体 + 星 + SN feedback)
- 初代星
 - low- z での銀河形成との関係は？
 - 二代目以降の”dirty”な過程？
- reionization?
 - dwarf銀河関係では、あちこちで影響する

- 克服すべき課題1
 - Tully-Fisher relation
 - dynamical response?
- 課題2
 - color-magnitude relation
 - IMF?
 - **ACF@small** separation
 - revised vGCで解決するか？
- 課題3
 - color bimodality
 - star formation model?
- 課題4
 - bulge formation
 - S0
 - SMBH-bulge relation?

- colorの問題

- 等級は0.1-1等の違い

- 色は0.01-0.1等の違い

- 結構微妙な問題

- 注意深く考えないといけない

- 星形成の詳細に依存

パーツの改良



model



新たな観測との比較

本当にどうもありがとうございました。

次回？